

新技術波及展開事業

# 2024 年度 カタログ発刊

87 技術に大幅拡充！

※すべての技術は、専門家による審査を通過した、  
効果などが明確な技術です。

## 新技術波及展開事業とは

民間企業等の開発した農業の生産性向上等に資する新技術を普及現場に迅速に波及・展開するため、当該技術をカタログ化するとともに、普及組織への情報提供・意見交換、現地説明・研修会等の場づくりを行う「新技術波及展開事業」を実施しています。

## まずは技術を知ってもらおう

冊子は全国の普及指導センター等、都道府県の普及関係機関に1冊ずつ（約600ヶ所）配置しています。

## 展示やPRの機会を設けます

普及指導員の集まるイベントでの展示や、オンライン研修会でのプレゼンの場等を企画します（有償）。

## 普及指導員との仲介をします

掲載技術に興味を持つ普及指導員からの依頼に対してメーカーご担当者様を仲介します。



## 普及機関との連携に！

メーカーご担当者様による

- ◇ 出張による新技術の説明・指導・講演
- ◇ 出張による新技術の実演・展示・デモンストレーション
- ◇ サンプル品の提供・モニター調査
- ◇ その他（相談、委託試験 等）

などの対応ができる新技術を、普及指導員の皆様に向けて、ご紹介しています。

掲載を希望する技術がありましたら下記までご連絡ください。

〒110-0005 東京都台東区上野 3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル 8 階

一般社団法人全国農業改良普及支援協会 普及技術カタログ担当

電話：03-5817-4992 メール：tech-catalog@jadea.jp

# 普及技術カタログの活用事例

～全国の普及指導員さんが役立っています～



## 高冷地山上げのモニタリングに利用

**利用技術：**環境モニタリングシステム「ハウスファーム」(2024 カタログ p144)

**要請内容：**花き担当の普及指導員さんからの要請で、他県の高冷地に山上げを行っているが、山上げ期間中の温度等のモニタリングを行いたく、試用したいとの要請がありました。前年度に急激な温度変化で凍害を受けたことが試用に至った理由です。

**対応内容：**ハウスファーム 1 台をレンタルし、夏場の約 3 か月間の試用を行っていただきました。結果として、操作性が良く、急激な温度変化にも対応できたと生産者から好印象でした。

## 新興のいちご産地における病害虫対策

**利用技術：**UV-B 蛍光灯 (2024 カタログ p142)

**要請内容：**いちご農家がどんこ病やハダニの発生に困っている。みどり戦略の推進もあり化学農薬削減にもつなげたいと普及指導員さんからの要請がありました。

**対応内容：**カタログ内の UV-B 蛍光灯について、メーカーに資料の送付と生産者への説明等を要請し、取組に前向きな 2 戸で設置することになりました。担当の普及指導員さんは、育休明けの職員さんでしたが、現場を離れていたため、新技術の情報提供とメーカーの支援はありがたいとの感想をいただきました。



## みかん園のポンプの改修

**利用技術：**かん水コントローラー「最滴潤土」(2024 カタログ p130)

**要請内容：**みかん園のかん水用スプリンクラーが老朽化し、更新を検討しているとの相談がありました。

**対応内容：**設置自体は JA や部会が主体でしたので、当初は場所を伏せて相談しつつ、ある程度地元で説明できる内容が整ったところで、具体的に設置の可能性についての相談になりました。メーカー担当者には現地訪問いただくなど丁寧に対応していただいております。

## 花きの土壌消毒による病害対策

**利用技術：**難透過性フィルム「バリアスターV」(2024 カタログ p116)

**要請内容：**花き農家において、一部のベッドで萎凋細菌病が発生しており、発生が他のベッドにも拡大している状況であり、多発ベッドにおいてガスバリア性フィルム「バリアスターV」を被覆資材として土壌消毒を行い、病害抑制効果を確認したいとの相談がありました。

**対応内容：**実証に必要な資材をメーカーから提供いただき、試験を実施したところ、萎凋細菌病の発生がなく、「バリアスターV」で被覆することによって、従来の農薬被覆より効果的に果的に土壌消毒ができた可能性があるとのことでした。

